

ヤコブ

の手紙

4

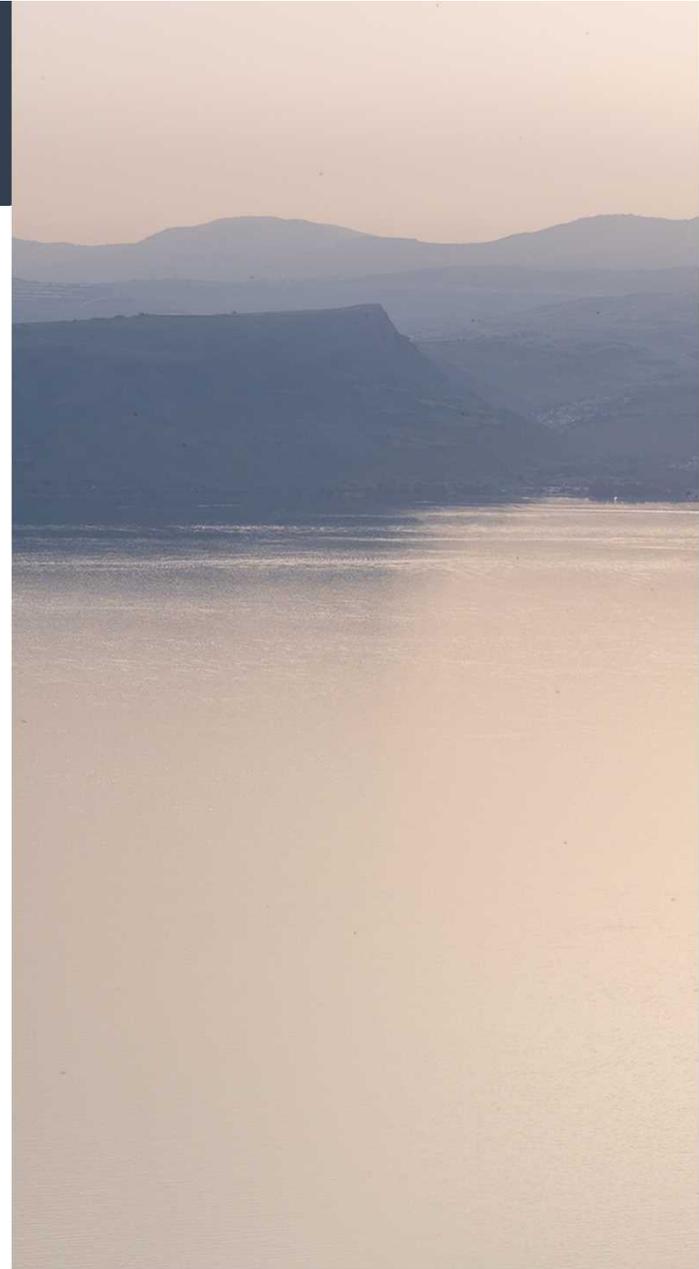
「へりくだって
主に仕えよ」

ヤコブの手紙 4章 己の傲慢か 主への謙遜か

アウトライン

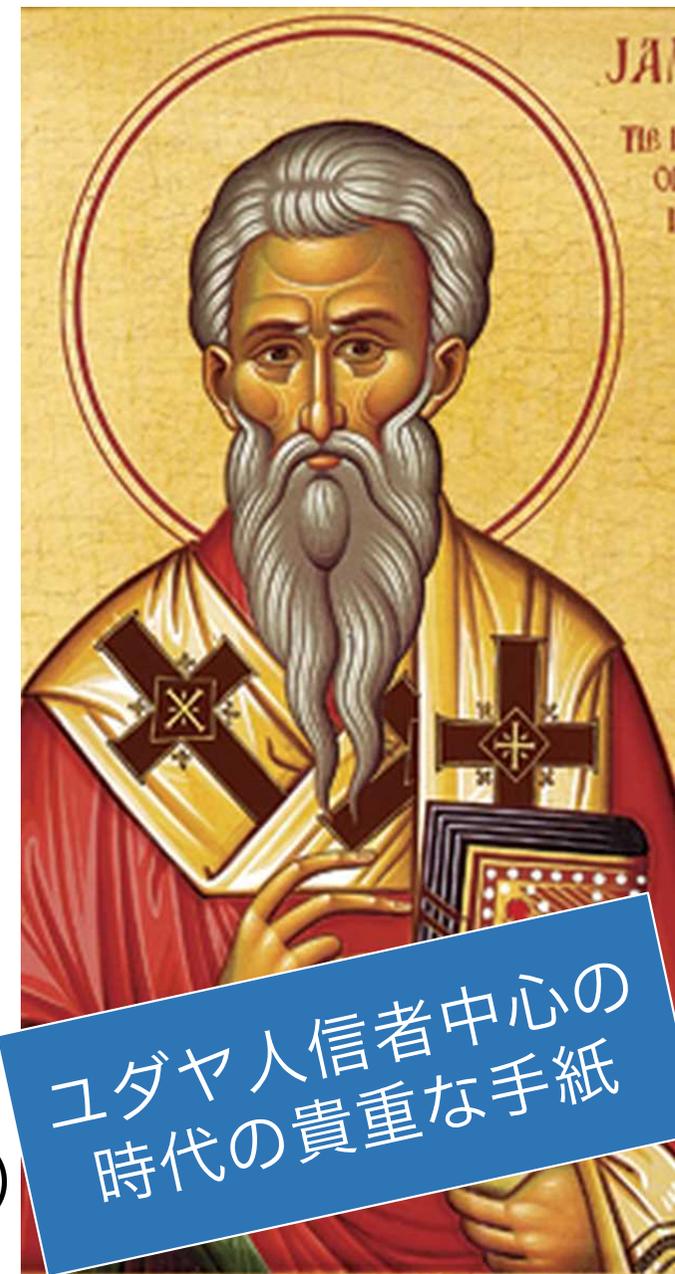
- 0. イントロダクション
- I. 世の友か 神の友か 4章1～12節
- II. 人の誇りの愚かしさ 4章13～17節
- III. まとめと適用

シンプルに信じて生きよう



【ヤコブの手紙とは？】

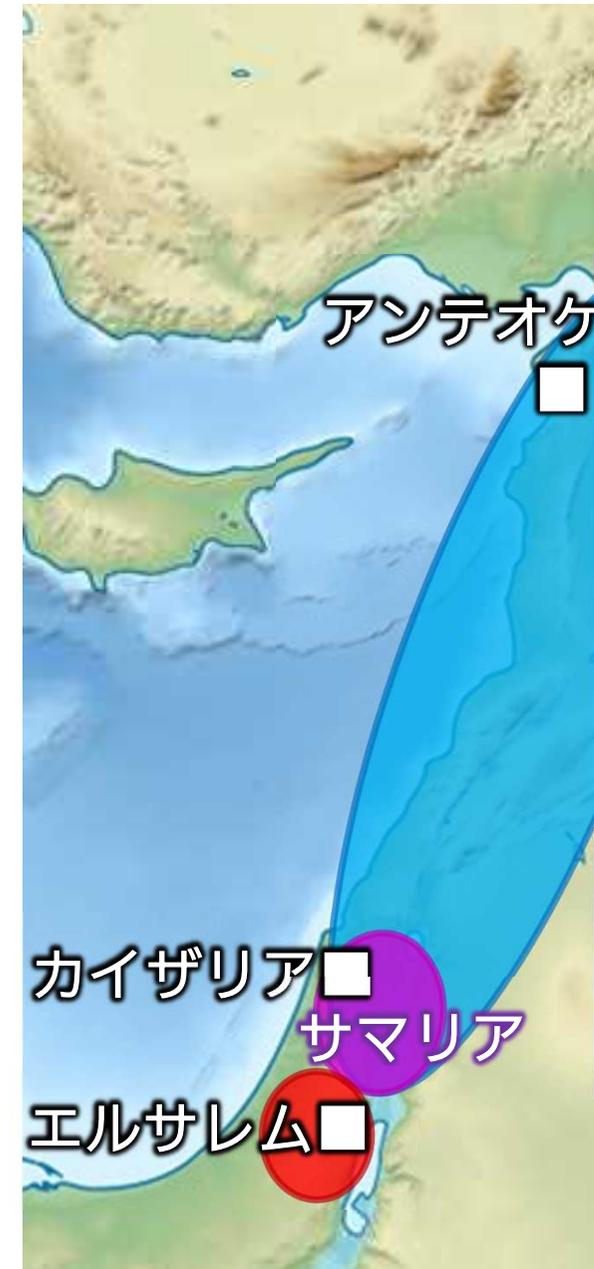
- **著者** …イエスの実弟ヤコブ。
(12使徒のヤコブとは別人!!)
- **年代** …45～49年頃。エルサレム会議前か。
→会議の内容に言及がない!!
- **場所** …エルサレムか。
- **内容・目的** …公に読まれた共同書簡。
信仰と行いの一致を促す。
- **対象** …**離散のユダヤ人(ディアスポラ)のユダヤ人信者(メシアニック・ジュー)**



ユダヤ人信者中心の
時代の貴重な手紙

【ヤコブの手紙が書かれた時代背景】

- イエスの昇天後、15～20年。
二度の**大迫害**により、散らされていった弟子たち。
★福音は、**エルサレム → サマリア → 異邦人へ**
- この時代の教会のメンバーの中心は、**ユダヤ人**。
 - ① **生粋のユダヤ人**
 - ② **離散のユダヤ人** (ディアスポラ)
 - 海外生まれ。国際人。ギリシャ語が堪能。
熱心な人々は律法を遵守。エルサレムを巡礼。
- 対象は、多数になっていた、**② 離散のユダヤ人**。
アンテオケなど、海外の有力な地域教会も誕生。
実質的な働きは、エルサレムからアンテオケへ移行。



【離散のユダヤ人とギリシャ文化の影響】

■ギリシャのアレクサンダー大王による支配(前333年)以降、ローマの支配(前63年)に至るまで、**ギリシャ文化**の影響が拡大！

■ギリシャ文化の特徴(極めて**世的**)

★**多神教** …ギリシャ神話の神々。偶像礼拝。

★**人間中心主義** …ギリシャ哲学。古代オリンピック。

★**霊肉二元論** …肉体と精神を別々に捕らえ、
精神は肉体より優れていると考える。

← **一神教**

← **神中心**

← **一元論**

聖書的価値観

■ギリシャ文化の影響は**離散のメシアニックジュー**にも及んだ。

教理的最大の問題は、メシアの受肉の否定!!

【使徒の時代とヤコブの手紙】

イエスの昇天



聖霊降臨①



【ユダヤ人伝道】

聖霊降臨②

ステファノの殉教・大迫害



【サマリア伝道】



聖霊降臨③

サウロの回心



【異邦人伝道】



聖霊降臨④

ヤコブの殉教・迫害

伝道旅行①

エルサレム使徒会議

伝道旅行②

伝道旅行③

パウロの逮捕・監禁

パウロのローマへの護送・難破

【ローマ伝道】

さらに世界へ

パウロ (15年間)

ペテロ (15年間)

【対句法のいろいろ】

■ 対句法とは、“似た言葉、文を並べて印象づける方法”

★ 聖書では、一つの真理に**多面的**に光を当て、
立体的に浮き上がらせる絶大な効果が!!

→ 旧約聖書で多用。新約聖書でも引き継がれる。

ヤコブ書でも
多用!

① 一般的対句法 $A, A', A'', A''' \dots$

$A = B, A' = B'$

② 交差対句法 $A = B, B' = A'$

③ 対照対句法 $A, B, C, = C', B', A'$

一つの真理を
多面的に解き明かす
聖書全体が
対句法とも言える



I. 世の友か 神の友か 4章1～12節



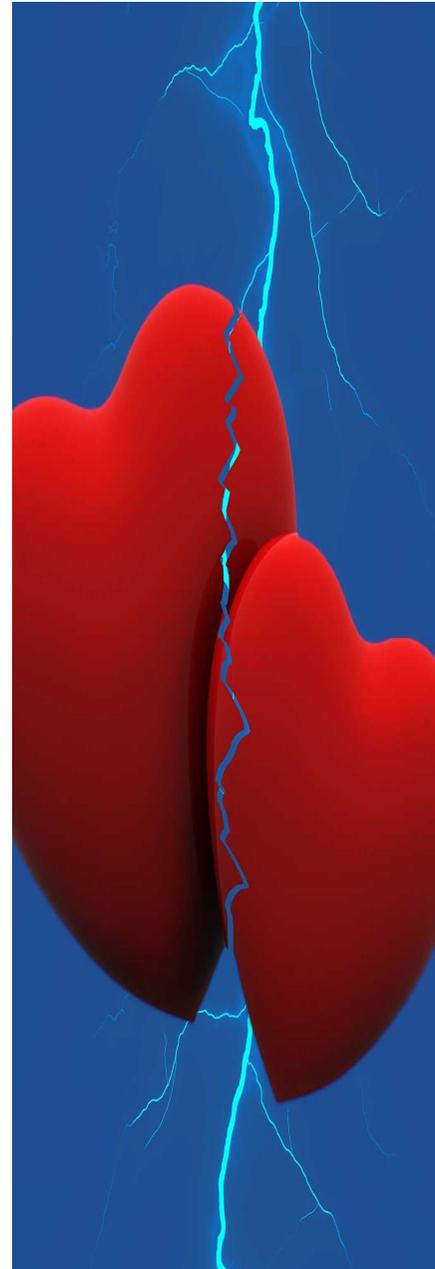
【内在する罪】 ヤコブ4:1

あなたがたの間の戦いや争い*は、どこから出て来るのでしょうか。ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望*から出て来るではありませんか。

*信者間に争いがあつた。

*罪の性質。罪は、人の心身・存在自体から出てくる。

「マタイ15:18～19 しかし、口から出るものは心から出て来ます。それが人を汚すのです。悪い考え、殺人、姦淫、淫らな行い、盗み、偽証、ののしりは、心から出て来るからです。」



【欲望の結果】 ヤコブ4:2

あなたがたは、

A.欲しても自分のものにならないと、

B.人殺しをします。

A'.熱望しても手に入れることができないと、

B'.争ったり戦ったりします。

※典型的な対句法 A=B, A'=B'

欲望が満たされない → 争い、殺人



【神への願いの大原則】 ヤコブ4:2~3

自分のものにならないのは、**あなたがたが求めないから***です。求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、**悪い動機**で求めるから*です。

***神に求めないから。**

***神の御心に沿わない動機だから。**

**大原則 “神の御心に適うことを
神に願えば必ず叶えられる”**

■**大事ななのは御心**を確かに聴き取り、実行すること。



ヨハネ福音書15:6~7

わたしにとどまっていなければ、その人は枝のように投げ捨てられて枯れます。人々がそれを集めて火に投げ込むので、燃えてしまいます。

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。

【世か。神か。】 ヤコブ4:4

節操のない者* たち。

A. 世*を愛することは

B. 神に敵対することだと分からないのですか。

A'. 世*の友になりたいと思う者はだれでも、

B'. 自分を神の敵としているのです。

* 貞操のない(第三),不貞のやから(口語),
神に背いた者たち(新共)

* 世(コスモス) →ギリシヤ的価値観

→世を愛する不信仰は、**靈的姦淫。偶像礼拝**

→**偶像礼拝**とは、神以外を神以上に愛すること。



【神の愛とねたみ】 ヤコブ4:5

それとも、聖書は意味もなく語っていると思いますか。「神は、私たちのうちに住まわせた御霊を、**ねたむ**ほどに慕っておられる。神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」*と。

*聖書の要約的引用。

“神が私たちのうちに住まわせた御霊は、**ねたむ**ほどに(私たちを)慕い求めておられる。(別訳)”

■神は、私たちが**愛するがゆえに**、
世に惹かれ、不信仰に陥った私たちが**ねたまれる**。



愛の神は
ねたむ神

【主の前でへりくだれ】 ヤコブ4:6~10

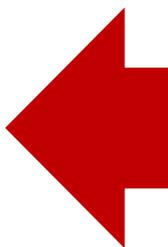
それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、**へりくだった**者には恵みを与える。」

4:7 ですから、神に**従い**、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

4:8 神に**近づき**なさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪人たち、**手をきよめ**なさい。二心の者たち、**心を清め**なさい。

4:9 **嘆き**なさい。**悲しみ**なさい。**泣き**なさい。あなたがたの笑いを**悲しみ**に、**喜び**を**憂い**に変えなさい。

4:10 主の御前で**へりくだり**なさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。



己を打ち砕かれ、
主の前にへりくだれ！

【へりくだる者への恵み】 ヤコブ4:6

それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。*」

*「箴言 3:34 嘲る者を主は嘲り、

へりくだった者には 恵みを与えられる。」

「1ペテロ 5:5 同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。

『神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる』のです。」



【神に従え】 ヤコブ4:7~8

ですから、

A. 神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、

B. 悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

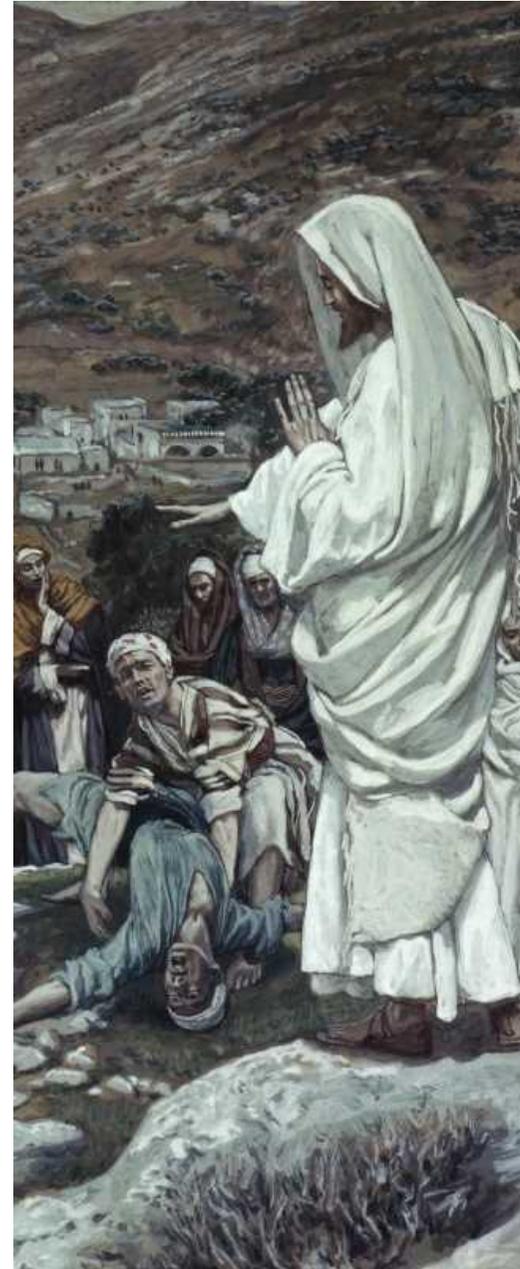
A'. 神に近づきなさい。そうすれば、

B'. 神はあなたがたに近づいてくださいます。

■ “神に従う”ことが、“悪魔に立ち向かうこと”

➔ 神に従いさえすれば、悪魔は逃げ去るほかない。

イエスは、主への従順により、悪霊を追い出した。



【打ち砕かれた者の幸い】 ヤコブ4:8~9

A. 罪人たち、 B. 手をきよめなさい。

A'. 二心の者たち、 B'. 心を清めなさい。

C. 嘆きなさい。 C'. 悲しみなさい。 C''. 泣きなさい。

あなたがたの D. 笑いを F. 悲しみに、

D'. 喜びを F'. 憂いに変えなさい。

- すべての人は**罪人**。聖なる神は、きよめを求める。
己の罪を知った者は、きよい神の御前に**打ち砕かれ**、
偽りの喜びを失い、**嘆き**、**悲しみ**、**泣く**ほかない。



【へりくだりと救い】 ヤコブ4:10

主の御前で**へりくだりなさい**。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

- 救われるために必要なのは、自らの罪を知り、**打ち砕かれて**、ただ主の憐れみにすがること。
- 福音を信じるとは、神の前に**へりくだること**。
“主イエス・キリストは、わたしの罪のために、十字架にかけられ、死んで葬られ、復活された。”
➔ 信じた者は、永遠の御国の**共同相続人**とされる。



マタイ福音書 5:3~4,11~12

「心の貧しい者は幸いです。

天の御国はその人たちのものだからです。

悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。

わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、
ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。

喜びなさい。大いに喜びなさい。

天においてあなたがたの報いは大きいのですから。

【神の律法をさばく者】 ヤコブ4:11

兄弟たち、互いに**悪口***を言い合ってははいけません。自分の兄弟について**悪口**を言ったり、**さばいたり**する者は、**律法**について**悪口**を言い、律法を**さばいている**のです。もしあなたが律法を**さばく**なら、律法を行う者ではなく、**さばく者**です。

*そしる、ののしる、悪く言う。➔人格否定は殺人と同じ(マタ5:22)

*主イエスが教えた**律法**の本質は、

神を愛し、隣人を愛すること。(マルコ12:29~30)

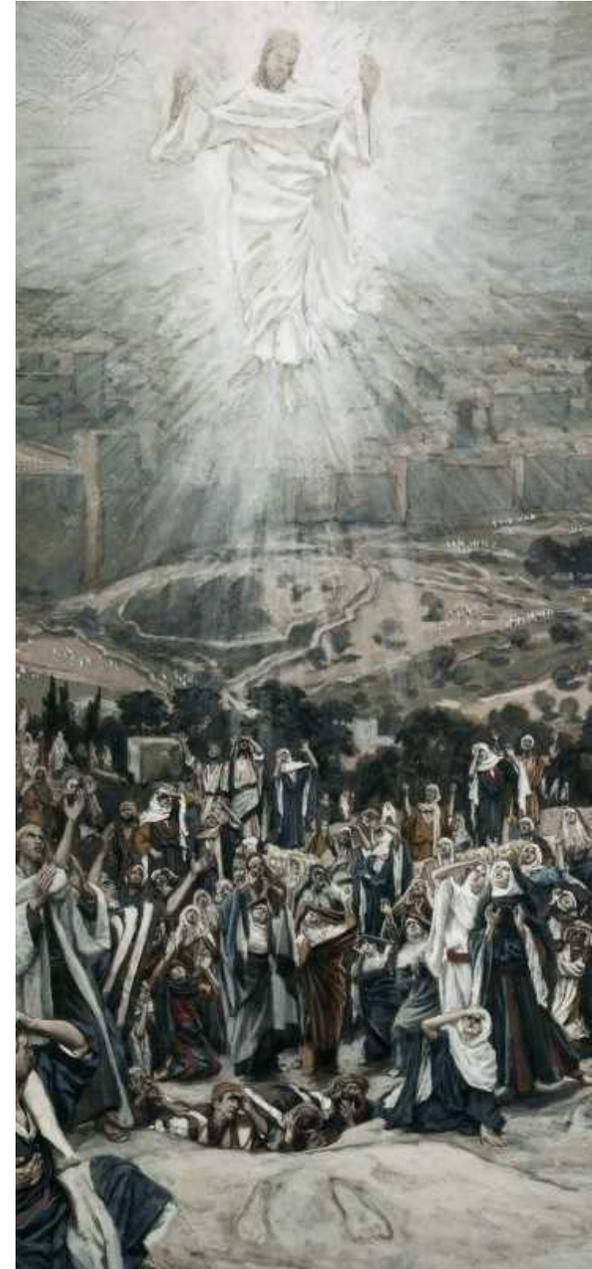
■他者の悪口 = 隣人愛を命じる律法の悪口

➔神の律法をおとしめ、自分が神になっている。

【裁き主を恐れよ】 ヤコブ4:12

律法を定め、さばきを行う方はただひとりで、救うことも滅ぼすこともできる方です。隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか。

- 教会内で、兄弟姉妹の悪口を言う人々への
厳しい戒め。
- 信者に求められるのは、裁き主なる主イエスを
恐れ、裁きは主に委ねること。



マタイ福音書 5:22

しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます。『愚か者』と言う者は火の燃えるゲヘナに投げ込まれます。

Ⅱ. 人の誇りの愚かしさ 4章13～18節



【明日を支配する方】 ヤコブ4:13~14

「今日か**明日**、これこれの町に行き、そこに一年いて、商売をしてもうけよう」と言っている者たち*、よく聞きなさい。あなたがたには、**明日**のことは分かりません。あなたがたのいのちとは、どのようなものでしょうか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それで消えてしまう霧です。

*交易で成功したディアスポラは多かった。

■神を忘れ、都合良く未来を思い描く罪深さ。

例)宝くじがあたった想定で他者を支配する人。

➡**時と歴史を支配されるのは、唯一の神のみ。**



【覚えるべきは主のみこころ】 ヤコブ4:15

あなたがたはむしろ、「**主のみこころ**であれば、私たちは生きて、このこと、あるいは、あのことをしよう」と言うべきです。

＊“**主に生かされて、今がある。**”

➔この大前提を忘れるな、ということ。

■将来の計画を立てるのが悪いのではない。

時を支配される神を忘れる**傲慢**への戒め。

今なすべき使命に生きているかが、問われる。



【人の誇りは罪】 ヤコブ4:16~17

ところが実際には、あなたがたは大言壮語して誇っています。**そのような誇り***はすべて悪いことです。こういうわけで、**なすべき良いこと**を知っていながら**行わない**なら、それはその人には罪です。

*自分のビジョンを他者に誇っていないか？

例) 目的が教会を導く？ 教会のビジョンが大切？

*クリスチャンには明確。

➡最大のなすべきよいことは、**福音宣教**。

■主の働きが、自分の思うようになることなどない。
今なすべきことに力を注げば、それでいい。



マタイ福音書 6:33

まず神の国と神の義を求めなさい。

そうすれば、これらのものはすべて、

それに加えて与えられます。

ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。

明日のことは明日が心配します。

苦勞はその日その日に十分あります。



Ⅲ. まとめと適用 シンプルに信じて生きよう

【ヤコブの手紙の本質は、極めてシンプル】

- 人は、打ち砕かれて、へりくだり、福音を信じて救われる。
本当に信じたならば、次第に変えられて、必ず行いの実を結ぶ。
- 心と体は一つ。信仰と行いは一つ。不可分のもの。
- ヤコブの手紙が記す、神への信仰は、どれだけシンプルか。
一方の私たち人間は、どれほど簡単に神の教えをゆがめるか。
- 当たり前のことを、当たり前に行っているのがヤコブの手紙。
当たり前のことを、当たり前に入れないのが罪人。

【すべての人の選択は、二つに一つ】

■ 世を愛するか。神を愛するか。

世に従うか。神に従うか。

自分の欲望に忠実か。神の願いに忠実か。

己のビジョンにしがみつるか。神のビジョンにしがみつるか。

自分を誇るか。神を誇るか。

【救いの道は一つだけ】

■ **福音**を信じること。

“主イエス・キリストは、私の罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、三日目に死を打ち破って復活された。”

今も生きておられるイエスは、私を永遠に罪から救うことができる。

【クリスチャンにとっての幸いとは？】

- 自分の思いが満たされないこと。
自分の願いが叶わないこと。
自分を誇れないこと。
世で言う成功が手に入らないこと。
自分のビジョンが実現しないこと。
- 自分の願望、夢、ビジョン…。すべてが打ち砕かれて、
ただ、聖書にある主の約束だけが実現していくことを、
身をもって知らされていくこと。
それが、クリスチャンにとっての幸い。

【クリスチャンを謙遜にさせる最大の事】

■ 傲慢とは、“神を忘れた心の状態”。

神を知らない人は、人に対してどんなに謙遜でも、根本は傲慢。

■ クリスチャンは、傲慢を打ち砕かれ、神を知らされた者。

それでもなお残る**罪の性質**があり、すぐに頭をもたげる**傲慢**がある。

■ 謙遜を保つために必要なのは、**神の計画**を学び、よく知ること。

そして、クリスチャンを謙遜にさせる最大のことは、**福音宣教**。

➔ 思い通りには決してならず、世的には愚かとしかみなされない。

福音宣教に日々遣わされる者は、日々打ち砕かれ続けている者。

現在進行形の福音宣教のあかしが、私にあるか？

【福音宣教の使命に日々生きて、主の恵みを味わおう】

- 今、誰かに福音を伝えているか。伝えようとあがいているか。
- へんなプライドを引きずっている人に、伝道はできない。
伝道とは、日々、自分を打ち砕かれていくことに他ならないから。
本当に伝道している人は謙遜になる。
謙遜でなければ、伝道はできない。
- ばかの一つ覚えとあざけられていい。目新しさに振り回されるな。
私たちが伝えるべきは、2千年来、変わらぬ福音。
何があろうとなかろうとも。ただこの福音を掲げていこう。

私の罪のため、死んで復活された主イエスは間もなく来られる

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、
①わたしの罪(つみ)を贖(あがなう)うために十字架で死に、
②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

主を もっと知りたいと願います。

恵みを さらに味わいたいと願います。

どうか、私を福音宣教の使命に つかわしてください。

この身がうち砕かれて、さらに、主の恵みが、心の奥深くまで
染み渡っていきますように。喜びが満ちあふれていきますように。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」



バイブルスタディ

★次回予告：2021年7月27日(火) 午前10時より

「ヤコブ書 5章」

★Zoomでの分かち合いのコーナーも!!

11時10分くらいから、分かち合いの時間を持ちます。

★今後の予定：7/27(火)、8/17(火)、8/31(火)、